

第2回
臨時会融雪災害等に係る一般会計暫定補正予算や
人事案件など23議案を可決！

〈浪岡中世の館に隣接する旧坪田家住宅。農家と茶屋の両方の名残を留める江戸時代の津軽を代表する住宅建築で、平成14年に県重宝に指定された。〉

平成十七年第二回臨時会が、五月十九日に開かれました。今臨時会に市長から提出された議案は、予算案一件、条例案一件、単行案五件、人事案十五件の計二十二件で、いずれも原案のとおり可決・承認・同意さ

れました。また、議員から提出された議案は「青森市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について」の一件で、全会一致で可決されました。

平成17年第2回臨時会議案審議結果

■専決処分の承認について（平成17年度青森市一般会計暫定補正予算（第1号））	承認
■専決処分の承認について（青森市事務分掌条例の一部を改正する条例の制定について）	承認
■契約の締結について（新田浄化センターNo1消化タンク・ボイラー棟電気工事）	原案可決
■契約の締結について（新田浄化センターNo1消化タンク・ボイラー棟機械工事）	原案可決
■契約の締結について（八重田浄化センター合流No1雨水ポンプ増設機械工事）	原案可決
■青森市と青森県との間の公平委員会の事務の委託について	原案可決
■青森県交通災害共済組合規約の変更について	原案可決
■助役の選任について 佐藤 健一 氏	同意
■収入役の選任について 土田 浩 氏	同意
■教育委員会委員の任命について 和田 満郎 氏 鎌田 慎也 氏 工藤 ケイ子 氏 角田 詮二郎 氏 対馬 忠雄 氏	同意
■監査委員の選任について 熊谷 文夫 氏 永井 勇司 氏 工藤 豊秀 議員 福士 銀一 議員	同意
■固定資産評価審査委員会委員の選任について 雪田 良一 氏 田中 久美子 氏 雪田 重裕 氏	同意
■固定資産評価員の選任について 齊藤 壽 氏	同意
■青森市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

平成17年度一般会計・特別会計予算など 86議案を可決!

第1回 定例会

平成17年第1回定例会は、6月3日から28日までの26日間の会期で開かれました(参照項目:下記「会期日程」)。
今定例会に市長から提出された議案は、予算案49件、条例案16件、単行案1件、人事案1件の計67件で、いずれも原案のとおり可決・同意されました(参照項目:5~7ページ「予算特別委員会」及び8ページ「議案等審議結果」)。

さらに、県知事から提出された高田財産区などの、財産区議会設置条例案13件も可決されました。
また、議員から提出された議案は10件で、4件が全会一致で、2件が賛成多数で可決されました。
なお、一般質問では26人の議員が登壇しています(参照項目:2~5ページ「一般質問」)。

議員の本会議出席状況		会期日程	
6月3日	48人	6月3日	開会
6月10日	48人	6月9日	休会(議案熟考のため)
6月13日	48人	6月10日	一般質問(8人)
6月14日	48人	6月11日	休会
6月15日	48人	6月12日	休会
6月16日	48人	6月13日	一般質問(18人)
6月22日	48人	6月15日	各常任委員会の審査
6月27日	48人	6月16日	休会(議案審査のため)
6月28日	48人	6月17日	休会(議案審査のため)
		6月19日	予算特別委員会の審査
		6月20日	休会(議案審査のため)
		6月23日	休会

主な内容	(ページ)
一般質問	2~5
予算特別委員会	5~7
議員提出議案	7
議案等審議結果	8

一般質問

紙面の都合上、数多くの質問の中から一議員につき一項目をとり上げ、質問・答弁の要旨を掲載しています。

憲法改悪について

問 日本共産党 大沢研一
平和都市宣言をした市長として、憲法九条の改悪に反対すべきと思うがどうか。

答 憲法の改正については、平成十二年に衆議院及び参議院に設置された両憲法調査会から両院の議長にそれぞれ報告書が本年四月に提出されたが、当該報告書の提出が直ちに憲法改正手続に進むものではないものと認識している。憲法は国の基本法であり、最高法規であることから、市としても、今後の国政の場等の議論を注視していきたいと考えている。

若柳地域住民の願いである藤崎町への併合は

問 清和 佐藤良隆
若柳地域住民の要望である新藤崎町への併合についての新市の考えは。

答 若柳地区の境界変更事案については、旧浪岡町議会において請願が採択されており、また合併施行に向けての旧両市町の首長協議で、新市において改めて検討していくべきものと確認されている。新市としては、旧浪岡町議会の

紙面の都合上、数多くの質問の中から一議員につき一項目をとり上げ、質問・答弁の要旨を掲載しています。

採択を重く受けとめつつ、改めて若柳地区の皆様と話し合いの場を持ちたいと考えており、議会及び市民の御意見を伺いながら進めていくこととしている。

分町の可能性についていつ判断するのか

問 風・求める会 海老名 鉄芳
市長は合併後の分町もあり得ると発言していたが、いつ、どのような方法で判断するのか。

答 日本全体の大きな潮流の中で今回の合併があり、別々の自治体が必要である。合併の目的である次の時代の子や孫にとって夢や希望が広がる地域となり、そこに住む市民が幸せを感じることができるようになることが大事である。その上でお互いの判断で分町の手続が必要であれば手続をとるが、その時期を明言するよりは、まず、努力することを優先するべきである。

旧浪岡町議会への干渉について

問 日本共産党 工藤 祥三
旧青森市職員が住民投票を阻止しようと、旧浪岡町職員にメー

ル等で指示した行為は、旧浪岡町議会に対する内政干渉である。事実かどうか。

答 これまで旧両市町の複数の職員の間で合併施行に向けた業務調整等を行うため、「電話でのやり取り」や「メール交換」は頻繁にあったが、旧青森市職員が旧浪岡町職員に対し、町議会の運営に関して指導した事実を確認されていない。

二百十二億の特例債は折半して配分するのか

問 風・求める会 工藤 敏秀
二百十二億の特例債を折半し、浪岡地域の事業に配分する考えがあるのか。

答 合併特例債については、折半ありきということではない。あくまでも、市町村建設計画に盛り込まれている新青森市のプロジェクトについて、事業化する上では特例債を活用した方がよいものをピックアップしているにすぎない。

柳川庁舎に市民課的な窓口の設置を

問 社市民民連合 斎藤 憲雄
柳川庁舎に市民課的な窓口を設置しなかったのはなぜか。

答 本庁舎に利用頻度の高い市民課等の窓口部門を集約し、市民へのサービス水準を維持するよう配慮している。現在、市全体の窓口

※風・求める会…「風の会・住民投票を求める会連合」会派の略称です。
※社市民民連合…「社会民主党・市民連合」会派の略称です。

サービスの利便性向上を図るため、庁内のプロジェクトチームで基本的な考え方を整理しているところであり、柳川庁舎にも住民票の写しの発行などの基礎的な市民サービス機能を配置するよう具体的内容を検討している。

犯罪や事故防止のための空き家の実態調査は

市民クラブ 木下 靖
問 所有者の死亡等により管理がなされていない空き家の実態調査を行うべきではないか。

答 空き家の実態調査は、市民生活の向上を図る上で必要なものと考えており、まずは、市民、関係事業者等の参加・御協力のもと、放置空き家対策の組織づくりをする。その中で調査手法の検討や空き家への対応に関する審議を行うなど、「青森市で安全に安心して生活するための条例」に基づき、市民や事業者の方々と共に手を取り合い、その解決に取り組んでいく。

自動体外式除細動器の設置状況は

公明党 中川 勅使男
問 自動体外式除細動器が市の公共施設に設置されることとなったが、その設置状況を示せ。

答 自動体外式除細動器設置については、心停止状態になった人に対し、救急車の到着を待たずにそ

の場で心臓に電気ショックを与える措置により救命効果が高いという検証に基づき、本庁、浪岡、柳川庁舎や体育施設等市の公共施設十八施設に設置することとした。設置後も速やかに救急救命活動が行えるよう各施設の関係者に対し、心肺蘇生法や除細動器の取り扱いについて講習会を実施したい。



〈市民病院1階受付横に設置されている自動体外式除細動器〉

公立大学不正流用事件の調査の終了について

社市民連合 三上 武志
問 青森公立大学不正流用事件について、捜査の進展のないまま市としての調査を終了するのは問題だと思つがどうか。

答 青森市職員懲戒等審査委員会事務局の調査チームが行った調査結果を報告書にまとめ、関係職員

に対して懲戒処分を課し、関係資料と併せ当該報告書を公立大学へ提出することで、市としての一連の調査を終了した。今後は、この結果に基づき公立大学で対処することとなるが、使途不明金等に関しては民事訴訟も視野に入れて対応されるものと認識している。

市職員採用試験の実施予定は

風・求める会 上林 英一
問 本年の市職員採用試験の実施予定を示せ。

答 職員採用試験は、次年度以降の業務需用等を参考に定員管理計画を策定し、それを踏まえた上で新たに発生した事由等を勘案して実施している。今後、業務需要の大きな要因を占める中核市移行に伴う移譲法定事務の項目数などを整理し、定員管理計画を九月末までに策定した上で採用の要否も含め判断することとしており、概要が明らかになった時点で市民にお知らせする。

中世の館の位置づけは

風・求める会 小倉 尚裕
問 中世の館の位置づけをどのようか考えているか。また、館長を民間から登用した意義は何か。

答 中世の館は開館以来、貴重な歴史資料の保存・活用に努めるとともに、優れた芸術文化に接する機会を地域の方々に広く提供して

きており、今後においても情報発信、文化交流活動の拠点として、さらには新市の新しい観光資源として位置づけたいと考えている。また民間から館長を登用することで、より住民ニーズに近い民間の発想を取り入れ、先進的で魅力的な事業企画やサービスが期待できると考えている。

中学校給食費補助を全額補助にすべきでは

日本共産党 藤原 浩平
問 給食費の就学援助は、小学校は全額補助だが、中学校は半額補助である。同じ義務教育でありながら、また、浪岡では全額補助となっているのに、なぜ全額補助としないのか。

答 合併に当たり、事務事業の調整の中で、要保護・準要保護児童生徒就学援助に関して学用品費等については、両市町の基準が一致していることから制度が統合されたが、中学校給食に係る給食費扶助費については、合併後もそれぞれ旧市町の制度を適用することで整理されている。

新市の農林水産業振興計画策定の考えは

自由民主党 奥谷 進
問 農林水産業に係る総合的な振興計画を策定する考えは。

答 販売促進対策に重点をおいた施策を計画の重要な柱にしたいと

考えており、新設した農林水産部に、「りんご支援室」「販売支援チーム」を設置した。計画の策定については、市町村建設計画「青森浪岡21世紀まちづくりビジョン」や新基本構想の方針を踏まえ、農業者、農業団体、流通・販売業者、消費者など広く市民の意見等を伺いながら、早期に策定していきたい。

青森市ものづくりモデル事業の成果と展望は

新自民 高木 紳也
問 平成十六年度で終了した青森市ものづくりモデル事業の成果と今後の展望を示せ。

答 本市の産業経済発展の原動力となるよう実施した本事業には、九十六件の応募があり、超音波を活用した新方式屋根融雪専用センサーの開発、生食リングをカットした袋詰め長期保存法の確立、イカ釣り糸巻き取り装置の開発、住宅新工法開発など、八件の事業を採択し、販売実績を上げている。これらのモデル事業については、事業終了後も状況把握に努め、今後必要に応じて融資・助成制度を活用し、支援に努める。

青森市のリンゴのブランド化を

無所属 太田 一
問 合併により、浪岡地区のリンゴを含む農業の顔を持つ青森市に

※自動体外式除細動器…機械が自動的に除細動を判断して実行し、一般の人でも簡単に電気ショックを与えて心臓のリズムを回復させる装置。

なったが、メイド・イン・アオモリというブランド化に向けた戦略を示せ。

【答】合併協議の中では、C A冷蔵庫が必要と受けとめていたが、それだけでは不十分なことが判明した。ブランドとして確立するためには、今何が必要で今後どうすればよいのかを、生産者、消費者、さらにはマーケットも含めてしっかりと検証し、その手立てを講じていくことにより、ブランド確立に向かつて行けると考える。

アップルヒル経由の市営バス運行を

公明党 赤木 長義

【問】青森・浪岡両駅からアップルヒルを経由する市営バス浪岡線の運行経路を考えるべきでは。

【答】アップルヒルは浪岡地域有数の観光拠点であり、同様の要望が各方面からあるが、大釈迦、青森空港経由の浪岡線が運行を開始してからまだ間もないことから、今後利用者のニーズの把握に努めていく。地域間交流の促進の面からも、経路や安全運行などの課題を整理し、利便性のみならず採算性をも視野に入れながら、実施の方向で検討していきたい。

流雪溝の整備状況は

日本共産党 布施 一夫

【問】旧青森市が平成八年度に策定した雪処理基本計画では、十五地

区の流雪溝整備が計画され、「平成八年度からおおむね十年間を目途に、その達成に努める」とされていたが、大幅に遅れている。この計画の総距離数及び昨年度末までに整備された距離数を示せ。

【答】平成十四年八月、市民の代表者、有識者や鉄道事業者から成る「青森市新青森駅周辺地区整備等検討委員会」を組織し、平成十五年九月には「青森の豊かな自然と文化のつながりを表現すること」を整備コンセプトとする提言書が取りまとめられた。今後、駅舎整備に市民の声が反映されるよう鉄道・運輸機構やJR東日本などへの働きかけを強めていきたい。



〈市営バス浪岡線の運行経路への要望がある道の駅アップルヒル〉

天田内の生コン工場の操業は違反ではないか

日本共産党 館田 瑠美子

【問】市街化調整区域である天田内に建設された生コン工場が、開発許可要件である野内産の砕石を使用せず、尻屋産の砕石を使用したことは都市計画法違反ではないか。

【答】当該工場の操業の際には開発許可要件である鉱物資源が使用されていることが必要である。市は操業者に対し、都市計画法に基づき報告若しくは資料の提出を求め、必要に応じて立ち入り検査もできることから、この件についての報告を求め、違反が明白になった場合は監督処分を行うなど適切に対処していく。

新市の国民健康保険税の考え方は

自由民主党 前田 保

【問】旧青森市区域における保険税

【答】平成六年度に県内市町村で一番高かった一人当りの保険税が、平成十五年度では十八番目となるなど負担の軽減を図ってきたが、平成十七年度は、医療分で五億七千三百万円程度、介護分で二億三千五百万円程度の歳入不足が見込まれ、次年度以降も歳入不足が拡大すると考えられる。今年度は特例的措置として国民健康保険事業財政調整基金から繰り入れすることとし、税率改正を見送ったものである。

新ごみ処理施設の建設候補地選定の経緯は

市民市民連合 鳴海 強

【問】新ごみ処理施設の建設候補地を現最終処分場西側隣接地とした経緯を示せ。

【答】昨年度、両助役、関係部局長で構成する一般廃棄物(ごみ)処理施設検討委員会を開催し、施設整備基本構想の策定と候補地の検討を行った。その結果、ごみ処理施設建設地に要求される環境条件評価や施設の耐用年数と言われる二十年間における財政的評価の面からも、現最終処分場西側隣接地が適地であるとの結論に達した。

ごみ処理施設建設に地域の理解を

新自民 関 良

【問】一般廃棄物(ごみ)処理施設

【答】従前から廃棄物の処理施設とは、一般的に迷惑施設という受けとめられ方をされる場合が多いが、その地域の環境を悪化させることのないよう努力することはもちろん、地域の理解も得ながら建設されるべきであり、地域及び地権者の皆様、さらには搬入経路の皆様など地元との事前協議が必要であると考えている。

ごみ収集場所のガラス対策は

市民市民連合 大坂 昭

【問】ごみ収集場所のガラス被害の現状と対策を示せ。

【答】被害の主な原因が、ごみネットの未設置かガラスがごみネットからはみ出したごみを散乱させることであるため、町会へごみネットの設置を働きかけ、ごみをごみネットの内側に置くよう指導することをお願いしている。また、青森市ごみ問題対策市民会議発行の「会報せいそう」で、園芸用の黒い遮光ネットを使用して被害を克服した緑青葉町会の取り組み事例を紹介している。

新城小学校と新城中学校に新エネルギー導入を

市民市民連合 仲谷 良子

【問】現在、設計段階にある新城小

※C A冷蔵庫…果実は、採果後も呼吸を続け追熟するため、酸素と二酸化炭素の比率を調整し、リンゴの呼吸を抑制することで休眠状態にして保存する冷蔵庫。
※新エネルギー…石油代替エネルギーの促進に特に寄与するもので、太陽熱、太陽光、風力地熱などの自然エネルギーや、CO₂の発生が少ない合成エネルギー。

学校と新城中学校に新エネルギーを導入してはどうか。

答 市の新エネルギー導入基本方針では、公共施設の新築及び改築の設計段階において、設置目的や立地条件を考慮するとともに、費用面での取り組みやすさ、地域への普及・啓発効果、市政のPR効果を検討して、最も適切なエネルギーを選定し導入に努めることとしており、両校の設計段階において、環境部と協議をしていく。

社会的ひきこもりの人の実態調査を

問 市として社会的ひきこもりの人の実態調査をすべきでないか。

答 社会的ひきこもりの人の実態調査については、本人ではなく、家族がどうしてよいかわからず相談に来るケースがほとんどであるため、実情の把握は困難であり、現時点で実態調査はしていないが、今月初めて関係機関が一同に会する「社会的ひきこもり関連相談支援会議」が開催され、市も加わり、保健・医療・福祉・教育の各機関の相談・支援ネットワークの構築や支援体制などについて議論していくこととなっている。

ブックスタートの取り組み内容等を示せ

問 ブックスタートの具体的な取り組み内容等を示せ

答 旧浪岡町の三月の定例町議会

り組み内容等について示せ。本年四月一日以降に生まれたすべての乳児と保護者を対象に、四カ月児健診会場で絵本の読み聞かせを行い、親子のふれあいの大切さのメッセージを添え、絵本、ブックリストや子育て支援パンフ

特別委員会 予算委

定例会最終日の本会議で、平成十七年度一般会計・特別会計・企業会計の予算案を、予算特別委員会の審査報告どおり可決しました。以下は、委員会での質疑と答弁をまとめたものです。

問 合併特例法により議決した場合には、告示しなければならぬ地域協議会の設置や議員の定数、在任特例等について、旧浪岡町においては告示がされなかったが、問題はないか。

答 合併特例法では、議決した際に告示すべきことを規定しているが、告示により効力が生ずる旨の規定がないことから、その有無が効力に影響を及ぼすものではなく、趣旨としては広く知らしめることを目的としている。旧浪岡町民には議決内容について、広報紙等により広く知らせていることから、法の予定する告示の目的は達成しているものと認識している。

問 青森市との合併に対する住民投票阻止に係るメールのやりとりの内容から、浪岡町に対する内政干渉は明らかである。なぜ認めないのか。

答 旧浪岡町の三月の定例町議会

レットなどを直接手渡しする「心はぐくむブックスタート事業」を、八月から実施する。健診会場となる健康増進センター、西部市民センター、浪岡総合保健福祉センターで、合わせて四十回の実施を予定している。

問 合併特例法により議決した場合には、告示しなければならぬ地域協議会の設置や議員の定数、在任特例等について、旧浪岡町においては告示がされなかったが、問題はないか。

答 合併特例法では、議決した際に告示すべきことを規定しているが、告示により効力が生ずる旨の規定がないことから、その有無が効力に影響を及ぼすものではなく、趣旨としては広く知らしめることを目的としている。旧浪岡町民には議決内容について、広報紙等により広く知らせていることから、法の予定する告示の目的は達成しているものと認識している。

問 市民が電話をかけ直さなくてもよいように、柳川・浪岡両庁舎へ本庁内線電話でかけられるようにすべきと思うがどうか。

答 市庁舎は、七月から三庁舎となり、電話回線もそれぞれに敷設することとしている。浪岡庁舎は代表番号とダイヤルインによる直通電話、柳川庁舎はすべてダイヤルインによる直通番号とした。将来的には一元的な代表番号とともに各庁舎間の転送を含めた融通性も大事なことから、電話交換機の

償却見通しも含め検討していきたい。問 少子化対策として不妊に悩む夫婦に対し、不妊検査、治療費の助成を行うべきと思うがどうか。

答 県では、国の支援策を踏まえ、本年四月一日から「特定不妊治療費助成事業」を創設し、特定不妊治療に対する助成を実施している。市では、中核市への移行を目指していることから、県の助成事業の動向や地域ニーズを見きわめ、対応していきたいと考えているが、不妊に関する相談には適切に対応し、情報提供を行っていく。

問 野菜・花卉等の生産支援対策を示せ。

答 転作田での野菜・花卉の栽培を奨励するため、花卉、トマト、ネギ、ピーマン等奨励八品目を作付けた場合、市単独の地域振興作物等産地化維持事業により助成し、野菜・花卉の振興を図っている。今後とも食の安全と安心を求める消費者の志向に合致する農産物生産を奨励し、冬の農業にも対応できるパイプハウスなどの生産施設整備の促進とともに、販売機会の拡大、農産物の付加価値を高める加工品の開発など、野菜・花卉等の生産振興に対して多面的な支援をしていく。

問 青森中核工業団地への企業誘致を促進するため、土地や工場

などの賃貸制度が必要と考えるがどうか。

答 青森中核工業団地については、平成十六年度に用地の賃貸制度を導入し積極的にPRに努めており、現在、数社と用地の賃貸による立地の交渉を進めている。また、工場等の賃貸制度については、同団地の所有者である中小企業基盤整備機構及び県に対し、重点要望事項として早期実現を働きかけている。

問 青森中核工業団地への企業誘致を促進するため、土地や工場



＜地域振興作物等産地化維持事業の助成により冬の農業が実現されているパイプハウス＞

問 天田内にある生コン工場が市の求める配合報告書を提出しないまま操業を続ける場合には、都市計画法に沿った厳しい対処をするのか。

答 当該工場の操業に際しては、

※ブックスタート…本を通じて赤ちゃんと保護者が、ことばと心を通わすかけがえのないひと時を分かち合うことを応援する運動。

都市計画法上の開発許可要件である鉱物資源の使用が必要であり、今後も骨材の産地確認の報告を求めると、操業の状況を見ながら適宜、都市計画法上の要件に従った操業を求め、それに従わない場合は法的な対応をしていく。

問 合併特例債を使った青森・浪岡間の新たなアクセス道路及び佐野女鹿沢線の整備に早急に着手すべきでないか。
答 合併特例債を活用した道路事業の実施についても、一般的な道路整備と同様の検討が必要なものとして認識している。両路線の整備に当たっても、合併後間もない現時点においては市町村建設計画における位置づけを踏まえつつ、具体的な必要性や事業手法等の検討をしている段階にある。当該路線は、新市建設計画における重要な事業と考へており、浪岡事務所とも調整の上、検討していきたい。

問 宮田地内から国道四号東バイパスまでの道路整備状況はどうなっているのか。
答 当該区間は、平成三年度から六年度までの事業計画で一般県道清水川滝沢野内線(馬屋尻工区)として道路改良工事に着手予定であったが、地元地権者の同意を得るのが困難であることや、県における財政事情が一層厳しい状況になつていないことから、整備の見通しは立っていないとのことであるが、市としては早期完成が図られ

るよう、今後も県に対して要望していく。

問 久須志・千刈地区で実施されるくらしのみちゾーン整備事業を、同様の道路状況の地区にも積極的に展開していくべきと思うがどうか。
答 当該地域と類似した地域は市内に多くあるため、基礎的な調査を行い、歩行者空間の確保や除排雪作業に多大な支障を来している路線で、特に整備効果の高い地域については、当該事業を実施したいと考へており、国土交通省に対し、地方道路交付金事業としての採択を受けるよう積極的に要望していく。

問 新幹線開業に向けて、浪岡駅舎を改築するべきでは。
答 浪岡駅の交通結節点としての整備改善とランドマーク建設による浪岡地区の顔づくりを進めるため、平成十六年度から二十年度の計画で浪岡駅前周辺整備事業を進めており、駅前広場等の整備とあわせて、情報、文化交流拠点機能をもつ地域交流センターと浪岡駅舎との一体的な整備に向け、J.R東日本に委託しての調査などを行った。今後は、新市として整備を進める拠点の一つに浪岡駅周辺地区を加え、引き続き、関係者との協議を進めていきたい。

問 青森公立大学不正経理問題調査報告書の中で公費支出が妥当と判断された前学長の上京旅費について、旅費を出すという約束をだれがしたのか。また、だれの決裁で決まったことなのか。
答 前学長の招聘、交渉については、開学準備当時の大学設置対策室及び大学設置準備室の職員が行っていたが、当時の書類等がなく、聞き取り調査でも関係者の記憶がないことから、だれが承認したのかは不明である。

問 今後、アメリカ・メーン州へ浪岡中学校の生徒を派遣する事業を継続するのか。
答 浪岡中学校アメリカ合衆国メーン州ホームステイ事業は、平成四年度から実施しており、平成八年にはグリーリー中学校と姉妹校

の締結をし、相互に生徒を派遣し交流している。この事業は、学校関係者と保護者による国際交流事業推進委員会が実施主体となつて、今年度も実施する予定であることから、引き続き支援するための予算を計上している。

問 市民図書館の団体貸し出しで、蔵書を各学校で事前に検索し、図書館側が選んでおくという方法はできないか。また、団体貸し出しの条件はあるか。
答 団体貸し出しについては、本を届ける方法として、例えば宅急便を使う方法などについて、費用対効果も含めて効率的にしかも便



〈アメリカメーン州にホームステイをした浪岡中学校と地元の生徒たち〉

問 青森市文化会館の大規模改修の設計は、青森市所有施設バリアフリー整備方針の通り行うべきではないか。また、オストメイト対応の多目的トイレ設置や二階トイレの混雑解消策は改修に含まれているのか。
答 青森市文化会館は、高齢者や障害者の方々が施設を安全かつ円滑に利用するための整備が必要とされており、青森市所有施設バリアフリー整備方針に基づく対応を検討していきたい。二階ホワイエトイレの改修及び多目的トイレの設置については、平成十七年度予算案の議決後に精査していく。

問 旧浪岡町では、学校教育以外のスポーツでも東北大会、全国大会へ行く場合、旅費の半分を助成していたので、市でも助成できないか。
答 学校教育活動以外の地域スポーツクラブによる活動については、保護者が責任を持つものとして、教育委員会では助成を行っていないが、日本体育協会が主催または共催する競技について、全国大会に出場する場合には一人当たり一万円、チームの場合は十万円を限度に助成している。

問 合流下水道管を利用した雪処理施設の全体及び単年度の具体

理施設の全体及び単年度の具体

的な計画内容とスケジュールを示せ。

【答】全体計画の実施期間は平成十七年度から平成二十三年度までの七カ年とし、対象地区は古川・北金沢地区ほか四地区、投雪口を三百四十五基整備し、総事業費は三億五千五百万円を予定している。平成十七年度は、予定地区の整備に向けた実施設計を八月末で完了し、今年度の冬期から供用できるよう投雪口十基の整備を進めることとしている。

【問】浪岡地区農業集落排水事業が未着手の四地区においても、分担金は発生しないのか。

【答】青森・浪岡両地区の農業集落排水事業については、分担金制度の導入を見送っている。しかし、施設の設置及び管理運営には相応の費用が伴うため、費用負担の公平性の観点から、分担金制度の導入については、浪岡地区の残り四地区も含め、新市の農業集落排水事業計画を策定する段階で総合的に検討したい。

議員提出議案

市議会は、議員から提出された十件の議案のうち、条例一件と意見書五件を可決しました(意見書は関係機関に提出)。以下は、可決された条例と意見書の要旨をまとめたものです。

全会一致で可決した条例

青森市議会委員会条例の一部を改正する条例

議員の辞職に伴い、総務企画、文化教育、産業交通の各常任委員会の定数を減少するもの。

全会一致で可決した意見書

地方六団体改革案の早期実現に関する意見書

真の「三位一体の改革」の実現を図るため、地方六団体の提案を十分に踏まえ、政府において①地方六団体の改革案を踏まえた三兆円規模の税源移譲の実現②生活保護費負担金及び義務教育費国庫負担金等の国庫

地方議会制度の規制緩和・弾力化はもとより①議長に議会招集権を付与する②委員会にも議案提出権を認める③議会に付属機関の設置を可能とすることなど、地方議会の機能強化及びその活性化のため、抜本的な制度改正が図られるよう強く求める。

地方鉄道の維持・確保に関する意見書

地方鉄道は地域住民の足であり、重要な社会資本として地域の発展に寄与し、地域性の創出を助けてきた地域の資産である。その存続を図るため、経常損失補助の復活等、地方鉄道事業者への支援措置の充実、安全対策の補助金の充実、第三セクター鉄道会社へ助成する自治体に対する財政支援措置の拡充、鉄道施設の整備・維持管理を公共で行う仕組みの確立と財政支援制度の創設、地方鉄道に対する「需給調整規制廃止」の見直しについて、特段の措置を講じられるよう強く要望する。

賛成多数で可決した意見書

雇用対策と地域経済の活性化等を求める意見書

政府が財政再建を最優先した歳出削減を目指し、地方における公務員賃金も一方的に引き下げようとしていることは、地域の民間企業や団体組織で働く労働者に悪影響を与え、勤労者家計の消費低迷により、地域経済はスパイラル的な停滞に陥り、さらなる格差の拡大と経済の疲弊につながりかねない。よって、雇用の

表彰

今年例会で、市議会議員として永年勤続された次の方々を表彰状と記念品の伝達が行われました。
【全国市議会議長会表彰】(議員在職二十年以上) 木村 巖

議員の辞職

(議員在職十五年以上) 奈良 祥孝・藤原 浩平 渋谷 勲・中川勅使男 奥谷 進・鳴海 強 小笠原正勝・坪 清美 前田 保

人事案

財産区管理委員の選任に同意

清水財産区 川田 継夫氏 川田 茂氏

深沢第二(川目平) 財産区 葛西 嘉一氏

八重菊第一財産区 川村 一夫氏

野内財産区 小笠原 孝氏

選挙管理委員及び同補充員の選挙

委員 (指名推選により当選) 神 一郎氏・越谷 文造氏

成田 豊一氏・坪田 左近氏

補充員 (投票により当選) 南部 平逸氏・上林 文雄氏

五十嵐 宏氏・大矢 昭夫氏

会派の異動

「住民投票を求める会」の会派名が「風の会・住民投票を求める会連合」に変更されました。会派の現況は、自由民主党八人、新自民七人、社会民主党・市民連合七人、風の会・住民投票を求める会連合七人、日本共産党六人、清和五人、公明党四人、市民クラブ三人、無所属二人です。

編集後記

市議会だより第2号をお届けします。

四月十二日に開催された合併後の初議会において、市議会だよりの編集など議会広報を担当する特別委員会が新たに設置されました。市民の皆様へのわかりやすい広報をめざしてまいります。

■議会広報特別委員会

- 委員長 工藤 祥三
- 副委員長 関 良
- 委員 奥瀬 金蔵・太田 久一
- 委員 間山 勲・五戸三太郎



議会を傍聴して

浪館字志田 男性 69歳

初めて市議会を傍聴させていただきました。与えられた時間の中で、質疑応答をわかりやすく端的に述べることは、なかなか大変なことだとお察しします。

しかし、市民がより快適で安心して生活できるように、議会は時には「侃々諤々」と大いに議論を交わして、議会も行政も、元は市民のための組織であることを心して、頑張っていたいただきたいと思います。

●今定例会の傍聴者総数112人

インターネット中継

ケーブルテレビに加え、インターネットでも市議会本会議の様態をご覧いただけるようになりました。次の手順によりアクセスできます。

青森市のホームページへアクセス
<http://www.city.aomori.aomori.jp>

青森市議会 のボタンをクリック

開催状況及び議会中継 のボタンをクリック

中継しています のボタンをクリック
 (本会議開催中のみ)

平成17年第1回定例会 議案等審議結果

■平成17年度青森市一般会計・特別会計(13件)・企業会計(3件)予算	原案可決
■平成17年度青森市各財産区特別会計(31件)予算	原案可決
■平成17年度青森市特定基金特別会計予算	原案可決
■青森市総合計画審議会条例の制定について	原案可決
■青森市青少年問題協議会条例の制定について	原案可決
■青森市小作料協議会条例の制定について	原案可決
■青森市生涯学習推進委員会条例の制定について	原案可決
■青森市スポーツ振興審議会条例の制定について	原案可決
■青森市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決
■青森市地域振興基金条例の制定について	原案可決
■青森市財産区管理会設置条例の制定について	原案可決
■青森市自動車運送事業運営審議会条例の制定について	原案可決
■青森市で安全に安心して生活するための条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市重度心身障害者医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市乳幼児医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市消防団員退職報償金条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■青森市と五所川原市との境界の一部変更について	原案可決
■県知事提出議案 青森市財産区議会設置条例(13件) (高田、荒川、柊形、雲谷、合子沢、久栗坂、浅虫、浪岡、五本松、細野、女鹿沢、北中野、本郷)	原案可決
■青森市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
■地方六団体改革案の早期実現に関する意見書	原案可決
■地方議会制度の充実強化に関する意見書	原案可決
■地方鉄道の維持・確保に関する意見書	原案可決
■社会保障制度の抜本改革を求める意見書	否 決
■雇用対策と地域経済の活性化等を求める意見書	原案可決
■義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	原案可決
■首相の靖国神社参拝中止を求める意見書	否 決
■旧浪岡地区における合併の是非を問う住民投票の実施を求める決議	否 決
■合併問題の調査に関する決議	否 決